

魅力ある村づくりを考える

住民参加の座談会を開催

県と村主催の「魅力あるむらづくり座談会」が、米沢街道撞木の会、渡邊家保存会、村建設業協会の協力で、十一月十五日、村民会館大ホールで開かれました。

これは、村にある豊かな自然や景観、歴史遺産、文化、伝統芸能など村の貴重な財産を継承し、これからの村づく



りを考えようという取り組みで、県や村、まちづくり活動団体が協働で景観づくりを行うもの。これまでに、佐渡市両津湊地区、魚沼市大湯温泉地区・浦佐毘沙門通り地区、長岡市撰田屋地区がモデル地区に指定され、それぞれ取り組みが行われています。



第一回目となる今回は、下関・上関集落の住民をはじめ、地域外などから約七十人が参加。宝物再発見として、実際にまち歩きが行われました。三コー

スに分かれた参加者は、新たに発見した宝物や良かった点、改善が必要ななどを確認。その後、グループ形式で話し合いながら、魅力ある村づくりについて活発な意見交換が行

われしました。座談会は、全三回の予定で、次回は「むらのセールスポイントを高めよう」をテーマに、十二月十三日、村民会館大ホールで開催されます。

秋の催しを満喫

堀と柳の秋まつり

十月二十六日、役場前の柳とせせらぎ通りを中心に「堀と柳の秋まつり」、ふれあいど

「むを会場に「せきかわ農林業まつり」が開催されました。

びっくり!! さつまいも



山口一男さん(上土沢)の畑で採れた、珍さつまいも。山口さんは「父ちゃんに母ちゃんからまり、子どもがいる。まるで家族ですね」と話していました。

堀と柳の秋まつりにすっかり定着したよさこいソーランでは、地元の「えちご関川踊りた〜い」をはじめ、県内約二十チーム、約三百人が参加。渡邊邸前の道路を会場に華麗で迫力ある踊りが披露されると、沿道の観客からは大きな歓声が上がっていました。



そのほか、旧米沢街道沿いを平田大六村長が案内する散策ツアーも人気を集め、訪れた皆さんは多彩な催しを楽しんでいました。



平田公栄さん(小見)の畑で採れた、重さ約2kgもあるジャンボさつまいも。平田さんは「こんな大きいものは初めてです」と、ビックリしていました。

一千食用意された杵つきもちや新潟地鶏をふんだんに使ったジャンボ鍋のサービスでは、長い行列を作って人気を集めていました。



須貝寅三さん
旭日双光章
を受章

須貝寅三さん（高田）に、国から地方自治功労叙勲として旭日双光章が贈られました。須貝さんは、昭和五十年八月に村議会議員に初当選され、以来平成十五年七月までの七

秋の叙勲

おめでとう
ございます

堀文夫さん（湯沢）に、国から危険業務従事者叙勲として瑞宝双光章が贈られました。この賞は、自衛官や警察官、消防士など日ごろから危険を伴う業務に尽くした方を対象に贈られるもの。堀さんは、昭和四十年から平成十三年までの三十六年間、陸上自衛隊に勤務され、防衛の第一線で危険業務に従事されました。

堀 文夫さん
瑞宝双光章
を受章

期二十八年にわたり在職。また、昭和六十二年八月から平成五年七月までの六年間は、村議会議長として村の発展に尽力されました。須貝さんは「これまでご支援いただいた村民の皆様をはじめ、議会や各団体に大変感謝しております。今後も精進してまいります」と、受章の喜びを語っていました。須貝さんは十一月四日、新潟県庁で行われた伝達式に出席。泉田裕彦県知事から勲章が手渡されました。



米坂線に新型車両!!

11月1日からJR米坂線の一部列車で新型車両による運転が始まりました。

車両は、飯豊連峰のブナ林をイメージした色を採用したキハE120型。内部は、車椅子対応のトイレや乗降口のステップと床面の段差を縮小するなど、より快適に乗車できる、人にやさしい車両となっています。また、排出ガスを抑制した新型ディーゼルエンジンを搭載し、環境にもやさしい車両となりました。新型車両が導入されている運行列車は、お昼の坂町行と夕方の米沢行の1往復のみ（村内分）ですが、順次、全列車に新型車両が導入される予定です。

切符の購入は越後下関駅で

米坂線利用者が年々減少していることから、越後下関駅では6時45分から18時15分まで駅員による窓口業務を行うなど、利便性向上に取り組んでいます。

米坂線存続のため、通勤通学の定期券や遠出旅行の切符は、ぜひ越後下関駅での購入をお願いします。



堀さんは、「受章できて大変感謝無量です。諸先輩のご指導と皆様のご支援の賜物と深く感謝しております」と、喜びを語っていました。

各種表彰

新潟県精神保健福祉協会会長表彰

本部久美子さん（南中）に、新潟県精神保健福祉協会会長から表彰状が贈られました。本部さんは、平成五年から関川通所作業所の指導員として



で通所者への指導や良き理解者として尽力。また、知的障害者相談員としても活躍していて、障害者生活支援でのこれまでの功績に対して表彰が贈られたものです。

新潟県

統計協会総裁表彰

統計調査活動に長年にわたって尽力された皆さんに、新潟県統計協会総裁（泉田裕彦県知事）から表彰状が贈られました。

伊藤真由美（上関）
鈴木由美子（下関）
田村 正子（大島）

* 敬称略